

平成27年度に開始した「地域デビュー支援事業」は、静岡県が平成28年度より進めた「壮年熟期事業」が一段落した影響で、受注件数が減少した。「居場所事業」は試行錯誤を繰り返し継続的に進展中である。平成26年3月4日に開館以降の累積訪問者数は令和元年度末で14135人となった。この間の活動が評価され静岡県社協から「ふじのくに地域共生大賞」奨励賞を受賞できた。シニア劇団くれば座はSPAC県民間月に応募し採択され、舞台芸術公園BOXシアターで五周年記念公演を行った。結果は大盛況で、静岡朝日テレビにて報道された。令和2年に起きた新型コロナ問題で、感染防止のため3月より長期休館状態となってしまった。

## 1. 居場所事業（シニアライフ支援センター「くれば」運営）

### （1）ミニセミナー事業

毎月行うキャスト会議にてテーマや進め方を議論し、徐々に扱うテーマや講師が更新されつつある。平均の受講者数は増加傾向で7人強まで伸びてきた。

### （2）歌声喫茶

「新さんの歌声喫茶」は人気講座として継続開催中。新たな参加者が増え、満席となることが多く新会員勧誘の場にもなっている。

### （3）NPO事業企画会議

毎回男性会員10名近くが参加し楽しく交流している。終了後の「持ち寄りパーティー」で更に親睦を深めている。女性参加者を増やすことが課題。

### （4）ランチ会

調理担当として持ち回りで参加していただける会員さんも増え定着している。常連会員以外の参加者も増えつつある。

### （5）レンタル事業

ルーム：技術士会や両替町2丁目まちづくり会議の定例会等で利用があった。

夜間のみならず午前中や休業日のニーズを発掘したい。

チラシ配架ラック：6ヶ月単位での有料基本利用制で、3法人から依頼があった。

展示棚：前年度は下駄の展示スペースとして収入があったが今年は無かった。「くれば」開所当初から構想を模索しており、小規模であっても継続的していきたい。

### （6）自治会研究班活動

静岡市人材養成講座（デザインカレッジ）修了生で研究班を作り定期的に活動を継続している。

市のサイト「ここからネット」へ団体登録して情報発信中の「自治会まるわかりガイド」としてまとめた中から、静岡市自治会連合会発行の「自治会加入のしおり」（改定版）に一部が採用された。

### （7）でん伝体操活動

平成29年度に静岡市の「運動器機能向上事業」として1年間受託。平成30年度からは自主活動団体として登録し、毎週水曜日の午前中に継続開催、2年が経過した。

## (8) 寸劇事業

シニア劇団くれば座は、令和元年度は別表に示すような実績ができ、大きく成長した。SPAC 県民月間の成功は特筆すべき出来事だった。

## 2. 地域デビュー支援事業

令和元年度の本事業の実施結果を下表に示す。

### (1) セミナー形式で実施分

※会員が「事例紹介」として登壇したのは磐田のみ。

場所	日程	イベント名	結果
清水区 有度地区	6月～： 昼3回	有度地区社協セミナー「会議のやり方を学ぶ」	参加者男女20名、地域のリーダーが地元の人々の意見をどのように吸い上げるかを学んだ。
浜松市	10月： 昼1回	浜松地域づくり講座	参加者は男女25人。コミュニティーの運営についてWS。
西伊豆町	11月： 昼1回	セカンドライフ講座（県事業）	参加者男女10人。伊豆での街興しの難しさを実感。
磐田市	2月： 昼2回	いきいきセミナー	参加者男女15名。ライフシフトセミナーの短縮版を実施。

### (2) 講演形式で実施分

場所	開催日	イベント名	講演タイトル
富士商工会議所	5月28日	女性会「エコーナ」年次総会	健康長寿社会を目指そう
藤枝市	11月15日	地域づくりセミナー	支え合いの地域づくり
焼津市	11月16日	市民活動実践講座	巻き込み方と伝え方
藤枝市	2月5日	コミカレねっとわーく中部支部大会	人生100年時代を生き抜くコミュニティーづくり
静岡市	3月5日	県職員組合学習会	50代から始めるセカンドライフの準備

### 3. シニア劇団「くれば座」活動

シニアの部活として2015年にスタートした「くれば座」は下記公演実績ができた。特筆すべきは、半年以上の準備をして、SPAC 県民月間公演を成功させた事である。中高年世代への啓発活動としてメッセージを届けることが出来た。

通算	時	場所	演目
第12回	R1年5月28日	富士市商工会議所	公園の音楽家
第13回	R1年11月5日	藤枝市地区交流センター	〃
第14回	R2年2月22日	舞台芸術公園 BOX シアター	〃

### 4. 外部機関との関係構築、ピアール活動

#### (1) 静岡大学須藤先生とコラボ講座

静岡県大学の須藤准教授が研究対象であるシニアの意識調査をするために「くれば」とのコラボ企画を提案され、3回実施した。受講者の参加費を支払っていただき、無料で開催した成果も出て盛況だった。「シニアへのIT普及」の模索を続けていきたい。

#### (2) フリーペーパー「コレカラ」とコラボ講座

シニア向けフリーペーパー「コレカラ」を発行する(株)LEAPH社の河原崎社長が提案され、1月に「コレカラカフェ “孫との心理学”」を開催した。今後も何らかのコラボ企画を試行していきたい。

#### (3) 「くれば」視察受け入れ

##### ①11月30日：立教大学社会学部学生10名

今年で5年連続の訪問となった。学生にとっては「地域包括ケアシステム」やコミュニティーカフェの現状を理解するよい機会となっている。

##### ②12月6日：掛川市7名

「かけがわ未来づくり会議」という街づくりを課題としたセミナーの受講生がフィールドワークとして「くれば」を視察された。静岡団塊創業塾の活動をプレゼン後、質疑。地域に居場所が望まれていることはどこでも共通の課題だと感じた。

#### (4) その他の外部ピアール

①県壮年熟期事業の「マッチング事業」にブース出展した。浜松市(12/18)、静岡市(1/14) 沼津市(1/17)の三か所で活動をPRした。

②フリーペーパー「コレカラ」で「くれば」の活動が紹介された。

③静岡市高齢者福祉課が発行したハンドブック「HAPPY SENIOR LIFE」に“地域やキャリアを超えてつながる場”として紹介された。

④番町市民活動センター発行の「ばんたび」でくれば座の5周年記念公演(SPAC 県民月間)の様子が紹介された。

## 5. 情報発信活動

### **(1) メールマガジン発信**

毎月25日に継続発行し、現在61号となった。ミニセミナーの予定や実績をはじめ、各種行事等の告知をしている。会員予備軍や退会者への情報伝達手段となっている。

### **(2) 「くれば」予定表の配架**

従来通り「くれば」内と両替町町内会、青葉地区連合自治会に毎月15日を目処に配架している。静岡市の市民活動ポータルサイト「ここからネット」にも情報告知している。

## 6. 会員数の推移

令和元年度は20名の方が入会された、これは今までの最高を記録した。ここ数年、退会者数と入会者数が拮抗しており、会員数としては横ばい状態ではほぼ100名である。「くれば」の活動実績と各「ブース出展でのPRや、会員の口コミ効果がでている。

静岡団塊創業塾が従来から取り組んでいる4仕掛け（会って、繋がって、磨いて、輝く）については、下記のような実績を残した。

### (1) 人生100年サミット

令和2年1月に第2回を実施した。テーマは「クスリや健康食品との上手なつきあい方」とし、団創会員の山田静雄氏に基調講演をお願いした。各団体にブース出展していただいた「出会いの広場」も盛況、ワークショップも盛り上がった。

### (2) 定期交流会

毎月第四土曜日に実施。理事会からの報告や各自の近況報告のパターンがベースであるが、新入会員さんを知り、旧会員同士でも意外な一面を知り合える場である。お出かけ交流会として、芋煮会、青春18きっぷの旅、ボジョレーヌーボーの会なども実施した。

### (3) 磨きあい塾

会員から立候補が無く、今年は団創実施のセミナーコンテンツを磨く2回の実施にとどまった。様々な場面で会員同士磨きあう（≒相談しあう）方針は維持したい。

### (4) 熟年セミナー

「くれば」のミニセミナー講師として活躍していただく以外に「地域デビュー支援事業」で登壇する機会をつくりたい。受託数を増やすことが課題である。

上記事業を行うために、第一土曜日午後に定例理事会を11回行った。

## 【令和2年度は下記内容で進めたい】

新型コロナウイルス感染予防対策継続が今後も当分続くと考えられ、令和2年度の事業計画、及び予算は非常に立案しにくい状況である。よって今後状況により変化する可能性があるとの前提で立案する。

### 1. 「くれば」の運営

前年度事業の継続をめざすが、年度前半は zoom 等によるネット活用での活動の試行。

後半からは「くれば」での活動再開も可能という前提であるが、開催日の減少は否めない。

### 2. 「地域デビュー支援事業」

(1) 静岡県内全域の各行政、社会福祉協議会にPRする

(現時点では焼津市、浜松市からの受注要請あり)

(2) 企業内で実施する「定年準備講座」市場を開拓する

### 3. 様々な機会を使った情報発信

- ・マスコミやフェイスブックページを効果的に活用する
- ・外部機関とのネットワークを広げる
- ・会員の広報活動、口コミによる情報拡散を促進する

『4仕掛け』については、下記のような方針で実施したい。

### (1) 人生100年サミット (団塊サミット改め)

令和3年1月16日(土)に第3回人生100年サミットを行う。

### (2) 定期交流会

毎月第四土曜日に「くれば」で開催する。後半は歌声喫茶を継続し、活動のウリとする。

### (3) 磨きあい塾

会員の持っている事業プラン、地域での活動案、ミニセミナー実施案、等について参加者で試行や議論をする場にする。常時受け付け、その都度日程調整する。中高年世代が持つ知恵や経験を、他の世代に伝え気軽にアドバイスできるような場にする

### (4) <熟年>セミナー

会員個々の得意分野を把握し、その方に特有の“知恵”や“経験”を広く外部にアピールしていきたい。「くれば」の“ミニセミナー”をその導入部とし、一人でも多くの方が「地域デビュー支援事業」の講師やパネリストとして登壇する機会を作る。

毎月第一土曜日の午後に定例理事会を行うほか、必要に応じて臨時理事会を行う。会員のオブザーブ参加は自由。問題提起したい方や活動アイデアがある方は是非出席願いたい。

この時期だからこそ新たな収益を得る仕組みを構築するべきとも考え、「くれば」休館中は新たな事業モデルを模索したい。「地域デビュー支援事業」の受注は厳しくなると想定されるが営業活動は積極的に行い、行政、社協等よりニーズを吸い上げたい。

以上

1. シニアライフ支援センター「くれば」写真



コミュニティーカフェ



ボジョレーヌーボーの会

2. 地域デビュー支援事業写真



静岡県壮年熟期事業セミナー（西伊豆町）



浜松市地域づくりセミナー

3. その他事業の写真



人生100年サミット



S P A C 県民月間「公園の音楽家」